

2025 (令和7) 年 2月3日(月) 145027号 (通巻)

メタル情報ネット

〒530-0043
 大阪市北区天満 2 丁目 12 番 3
 電話：06-6353-7831
 FAX：06-6353-7832
 E-mail：info@metalnet.jp

購読料 (税込)	外電配信料 (税込)
79,200円 (12か月)	92,400円 (12か月)
39,600円 (6か月)	46,200円 (6か月)
19,800円 (3か月)	23,100円 (3か月)



日刊メタルジャーナル

鉱工業生産・出荷12月

2か月ぶりプラス 生産機械上昇 「一進一退」は据え置き

経産省

経済産業省がこのほど発表した2024年12月の鉱工業生産・出荷等動向によると、生産指数は102.1（15年=100、季節調整済み）、前月比はプラス0.3%と上昇した。生産用機械工業や電子部品・デバイス工業などが上昇したことから全体として2か月ぶりのプラスに。ただ、基調判断は「一進一退」を据え置いた。

24年9月には自動車工業や無機・有機化学工業等が上昇したことから全体として上昇。10月も生産用機械工業や自動車工業などが主導し上昇したが、11月は生産用機械工業や自動車工業などが低下し、全体を下げていた。

12月の業種別では、全15業種のうち5業種が前月比上昇、9業種が低下し、1業種は横ばいだった。

上昇の最も大きかった生産用機械工業は化学機械、産業用ロボット等が主な上昇要因。次に上昇した電子部品・デバイス工業はモス型IC（メモリ）、固定コンデンサ等が、その次に上昇した無機・有機化学工業は合成ゴム、ポリエチレン等が主な上昇要因となっている。

低下が最も大きかった自動車工業は普通乗用車、軽乗用車等が主な低下要因。次に低下した化学工業（無機・有機化学工業・医薬品除く）は乳液・化粧水類、洗顔クリーム類等が主な低下要因となっている。

鉱工業出荷も2か月ぶりに上昇し、季節調整済指数は100.3、前月比プラス0.5%。全15業種のうち8業種が前月比上昇し、7業種が低下した。

上昇の最も大きかった生産用機械工業はショベル系掘削機械、建設用クレーン等が、次に上昇した輸送機械工業（自動車工業除く）は航空機用機体部品、船用ディーゼル機関等が主な上昇要因となっている。

低下が最も大きかった自動車工業は普通乗用車、普通トラック等が、次に低下した電子部品・デバイス工業はアクティブ型液晶パネル（中・小型）、電子回路基板等が主な低下要因となっている。

財別出荷指数では、資本金（輸送機械除く）がショベル系掘削機械、建設用クレーン等の出荷増により前月比3.3%と上昇。生産財がリチウムイオン蓄電池、航空機用機体部品等の出荷増により0.6%上昇、建設財は橋りょう等の出荷

鉱工業生産指数の動向と先行き

・2024年12月の鉱工業生産指数は、102.1（前月比0.3%）と2か月ぶりの上昇。



増により0.1%上昇となった。一方、耐久消費財は普通乗用車、セパレート形エアコン等の出荷減によりマイナス0.7%の低下、非耐久消費財は乳液・化粧水類、灯油等の出荷減によりマイナス1.3%となった。

先行きについては、企業の生産計画では1月、2月とも上昇を見込んでいるが、計画は実績より上振れ傾向があることから、「一進一退」は継続するとみている。

STEM教育サイトを開設

銅センター

一般社団法人日本銅センター（小野直樹会長、東京都台東区）は、銅業界の将来を担う人材、特に技術者確保につながる取り組みを行うことをねらいに「STEM教育事業」を行っているが、そのサイトをこのほど開設した＝画像。

事業は、小学生から中学生をメインターゲットとし、銅業界の技術者が銅の魅力を直接伝え、銅を身近に感じ、興味を持ってもらうための機会づくり。サイトは「経済産業省こどもデー」（毎年8）や「夏休み自由研究コンテスト」受賞者の作品、「銅の日イベント」、高校への「出張授業」など、盛りだくさん。





2月前半減摩合金価格を発表 フジメタル工業

フジメタル工業は、2月前半の減摩合金算定価格を改定。新算定価格は次の通り(ホワイトメタルS規格品、500キロ以上の大口、キロ当たり円、カッコ内は前回比)。

ホワイトメタル

◇1種	5,920円(▲45)	◇2種	5,900円(▲45)
◇2種B	5,790円(▲45)	◇3種	5,845円(▲40)
◇4種	5,265円(▲40)	◇5種	4,445円(▲35)
◇6種	3,930円(▲25)	◇7種	2,315円(▲5)

◇8種	2,250円(▲5)	◇9種	1,730円(-)
◇10種	1,790円(-)		

棒半田

◇錫60%	3,870(▲30)	◇錫50%	3,345(▲25)
◇錫40%	2,820(▲20)	◇錫30%	2,290(▲20)

原 料

◇錫	5,315(▲50)	◇アンチモン	6,625(-)
◇銅	1,466(◎16)	◇鉛	365(-)
◇亜鉛	504(▲7)	◇砒素	2,550(-)

J O G M E C カレント・トピックス

メジャー・中国の銅権益参入③ 豪州BHPのAA買収劇から

3-2. Rio Tinto

BHPと肩を並べる資源メジャーのRio Tintoは最近、銅の成長に重点を置き始め、2024年以降、銅市場に年間3%の成長を見込んでいる。これまで、Rio Tintoにはいくつかの買収劇があった。2007年、銅ではないがアルミ生産大手、加Alcan社の買収を行った。一方で、2008年2月、BHPによる買収提示がなされた。この件は、世界経済で金属価格の急落により見送られたが、同年、中国のCHINALCO社(Aluminum Corporation of China、中国鋁業集团有限公司)に9%の株式を売却している。Jakob Stausholm CEOは2024年上半期の業績説明の際、大型買収を検討するかもしれないが、市場は少し過熱しており、そのような価格に支払う用意がなく簡単に参入できないと述べている。関係者によるとRio Tintoの買収リストには加Teck Resources(Teck)も含まれる。

生産面ではモンゴルOyu Tolgoi銅鉱山から大幅な追加生産が予定されている。CODELCOやペルーでの加First Quantum Minerals社との提携も含まれる。また、2023年にグリーンフィールドに0.3bUS\$を費やしている。

同社はOyu Tolgoi銅鉱山のほか、米国のBingham Canyon銅鉱山、Kennecott銅鉱山を稼行、智Escondida銅鉱山にも権益を有する。Kennecott銅鉱山では製錬所を稼行しており、その生産量はすべて米国内で消費されている。2023年の銅鉱石産量は600千t程度で、世界の第8位である。

米AZ州Resolution銅鉱山は、完成すれば数十年にわたって米国の銅需要の4分の1以上を供給することになる。しかし、このプロジェクトが先住民San Carlos Apache族の聖地を破壊することを懸念し、先住民団体が強く反対、許可手続きは12年以上も長引いている。同プロジェクトの55%はRio Tintoが、45%はBHPグループが所有している。

3-3. Freeport-McMoRan

Freeportは単一の銅生産企業であったが、Richard Adkerson前CEOが、25.9bUS\$のPhelps Dodge社や20bUS\$のMcMoRan Exploration Company社などの大型買収を行い、大手銅生産企業となった。しかし同社は、この10年間の多くの時間を銅、モリブデン生産者の再編に費やしている。そして浸出技術の革新により低コストで銅の生産量を増やすことを目指している。

2024年6月に同社の新CEOとなったKathleen Quirk氏は内部成長に重点を置く姿勢を改めて強調、BHPによるAnglo American買収のような高額入札、M&Aのようなホットトレンドからは退いている。しかし機会があれば経済的に対応する用意があるとも発言している。

同社は2023年、1.27百万tの銅を生産、CODELCOに次ぐ第3位。北米ではMorenci銅鉱山があり、南米ではペルーCerro Verde銅鉱山の半分以上を所有し、住友金属鉱山も21%を所有している。2024年6月2日に同鉱山の拡張プロジェクトに関する技術報告書が承認され、2026~2044年まで目標取扱量を420千t/年、マインライフは2052年までと見られる。この鉱山はペルーで生産される銅の約19%とモリブデンの34%を占める。

また、チリのEl Abra銅鉱山の51%を所有、残りはCODELCOが保有している。拡張に約7.5bUS\$を投資する計画である。許可要件のため拡張には7~8年かかる見込みで、2025年末までに環境影響評価書を提出する予定である。拡張後は約340千t/年の銅が生産される。

インドネシアにはGrasberg銅鉱山があり、2023年Grasberg銅鉱山は約750千tを生産した。しかし輸出ライセンスの更新時期に関連したインドネシアでの出荷遅延があり、売上が2023年に比べて減少したという。

2009年にDRコンゴTenke Fungurume銅・コバルト鉱山の生産を開始したが、2016年に保有株を中国のChina Molybdenum社(CMOC、洛陽欒川鉬業集団股份有限公司)に売却した。2020年には同じくDRコンゴKisanfu鉱山もCMOC社に売却。専門家は同社の銅生産量は今後5年間1.3百万t/年と、ほとんど増加しないと予想する。

(つづく)

2025年1月の海外相場と為替相場

入電日	銅		錫		鉛	亜鉛	アルミ	ニッケル	為替
年 月 日	L M E	COMEX	L M E	K L T M	L M E				ドル
25 1 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	8,706.0	398.60	28,900	-	1,921.0	2,974.0	2,516.5	15,100.0	-
3	8,685.5	398.85	28,225	-	1,915.0	2,926.5	2,536.0	15,010.0	-
4	8,701.0	403.95	28,625	-	1,898.0	2,864.5	2,475.0	14,770.0	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	158.73
7	8,893.5	412.70	29,250	-	1,918.0	2,879.0	2,480.0	15,070.0	159.22
8	8,886.0	416.05	29,550	-	1,907.0	2,844.0	2,484.0	15,120.0	159.09
9	8,847.0	422.75	30,050	-	1,920.0	2,798.0	2,474.0	15,180.0	159.43
10	8,960.5	427.95	29,945	-	1,907.0	2,821.0	2,502.5	15,185.0	159.18
11	8,995.5	427.45	29,825	-	1,949.0	2,856.5	2,560.5	15,400.0	-
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	-	-	-	-	-	-	-	-	159.18
14	8,980.0	429.55	29,605	-	1,926.0	2,839.0	2,573.0	15,560.0	158.57
15	9,016.0	431.05	29,550	-	1,914.5	2,831.0	2,554.5	15,600.0	159.08
16	9,020.0	435.95	29,125	-	1,907.0	2,792.0	2,562.0	15,630.0	157.46
17	9,135.0	441.05	29,550	-	1,930.0	2,824.0	2,628.0	15,665.0	156.25
18	9,132.0	433.75	29,400	-	1,936.0	2,884.0	2,658.5	15,840.0	-
19	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	-	-	-	-	-	-	-	-	157.08
21	904.3.5	-	29,350	-	1,948.5	2,891.0	2,675.0	15,680.0	157.10
22	9,067.0	431.10	30,200	-	1,915.0	2,887.0	2,635.5	15,275.0	156.55
23	9,123.0	427.15	30,035	-	1,943.0	1,851.5	2,611.0	15,580.0	157.50
24	9,056.0	429.95	29,850	-	1,923.0	2,818.0	2,605.5	15,510.0	157.33
25	9,218.0	429.00	30,125	-	1,926.0	2,821.5	2,640.0	15,470.0	-
26	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27	-	-	-	-	-	-	-	-	156.60
28	9,051.0	420.35	30,000	-	1,913.0	2,791.0	2,616.5	15,505.0	156.13
29	8,890.5	422.05	29,620	-	1,897.0	2,746.5	2,572.0	15,240.0	156.68
30	8,881.0	425.75	29,775	-	1,931.5	2,720.5	2,590.5	15,230.0	155.76
31	8,975.0	428.80	30,060	-	1,935.0	2,756.0	2,617.0	15,195.0	155.43
平均値	8,962.8	423.51	29,573	-	1,921.8	2,791.7	2,571.3	15,355.0	157.62



1月の山元建値平均

金が612.53円高、銀が2,060円高

金は1万3,662.47円/g 銀は15万4,870円/kg

2025年1月の金銀山元建値平均価格は、1月の営業日は金山元が19日、銀山元も19日となり、金が前月より612.53円高の1万3,662.47円、銀は前月より2,060円高の15万4,870円となった。

小売の平均価格は、金が前月より652.63円高の1万9,042.68円、銀が前月より3,840円高の17万1,870円。直

近6か月の山元建値平均推移は次の通り（金は1g当たり、銀は1kg当たり）。

2024年

□ 8月	金：1万1,642.45円	銀：13万7,030円
□ 9月	金：1万1,840.31円	銀：13万9,530円
□ 10月	金：1万2,963.86円	銀：15万8,300円
□ 11月	金：1万3,130.60円	銀：15万5,610円
□ 12月	金：1万3,049.94円	銀：15万2,810円

2025

□ 1月	金：1万3,662.47円	銀：15万4,870円
------	---------------	-------------

故銅市況

1月31日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が前営業日の888100ドルより9400ドル高の897500ドル。直物の終値は、前営業日の894380ドルより6488ドル高の900868ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の900700ドルより9300ドル高の910000ドル。3か月物の終値は、前営業日の906800ドルより6050ドル高の912850ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場3月限は、前営業日の42830セントより245セント高の43075セント。SHFE（上海期貨交易所）は、春節の連休で2月3日まで休場。

31日の東京為替市場TTSレートは、前日の155.76円より0.33円の円高ドル安、1ドル=155.43円。31日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は897500ドル。この値と31日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の142万1000円より1万1000円高の143万2000円。この日、電気銅建値は144万円に据え置かれた。

為替動向

30日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0020ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=104.30ドル～104.40ドルで推移した。この日発表された米国の2024年10-12

月期の実質GDP速報値が前期比で年率23%増と市場予想の25%増を下回った。英ポンドも対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0030ドルのポンド高ドル安、1ポンド=124.60ドル～124.70ドルで推移した。

30日のニューヨーク外国為替市場で円相場は続伸した。前日と比べ100円の円高ドル安、1ドル=154.20円～154.30円で取引を終えた。この日発表の米実質GDP速報値が市場予想を下回り円買いドル売を促した。ただ、トランプ米大統領がメキシコとカナダに25%の関税を課す考えを改めて示したことで円の上値は抑えられた。

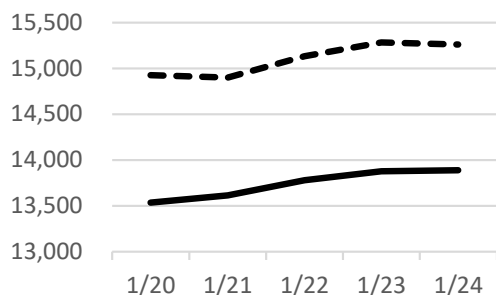
31日午前の東京外国為替市場で円相場は上昇した。12時、前日17時と比べ0.36円の円高ドル安、1ドル=154.17円～154.19円で推移した。米国経済の下振れてFRBが利下げに動き易くなるとの観測から米長期金利が低下、日米の金利差縮小で円買いドル売りが優勢になった。円は対ユーロでも上昇。12時、前日17時と比べ0.94円の円高ユーロ安、1ユーロ=160.19円～160.21円で推移した。

METALNET.JP

金銀山元建値週間推移

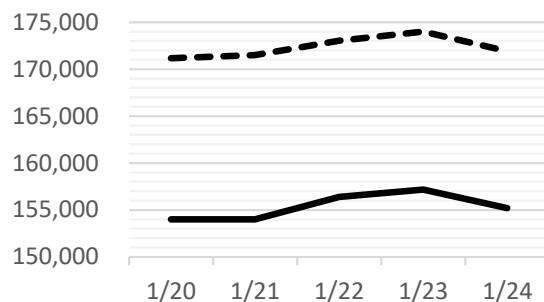
1月20日～1月27日

金山元建値週間推移



	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24
金小売	14,924	14,900	15,133	15,283	15,259
金建値	13,534	13,612	13,780	13,877	13,890

銀山元建値週間推移



	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24
銀小売	171,160	171,490	173,030	174,020	171,930
銀建値	153,990	154,010	156,380	157,180	155,190



▶LME銅相場は反発 直物終値は9,008.69ドル ▶COMEX銅相場は続伸 SHFE銅相場は休場
▶LME非鉄相場は総じて堅調 直物終値は亜鉛2,742.28ドル、アルミ2,624.76ドル

31日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、30日入電の8,881.00ドルより94.00ドル高の8,975.00ドル。4営業日ぶりに反発して1.06%高。この週2.64%の下落。1月に入って3.09%の上伸。3か月物の前場売値も、30日入電の9,007.00ドルより93.00ドル高の9,100.00ドル。4営業日ぶりに反発して1.03%高。この週2.51%下落。1月に入って3.16%上伸。LME公認倉庫の現地29日銅在庫は、前日の25万6,300トンより25トン減の25万6,275トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場2月限は、30日入電の426.05セントより2.75セント高の428.80セント。3営業日の続伸で2.01%高。この週0.05%の下落。1月に入って7.58%の上伸。3月限も、30日入電の428.30セントより2.45セント高の430.75セント。3営業日の続伸で2.36%高。この週0.26%の上伸。1月に入って7.50%の上伸。SHFE(上海期貨交易所)は、春節の連休で現地2月3日まで休場。

錫は続伸

LME錫相場の前場売値は、直物が、30日入電の2万9,775.00ドルより285.00ドル高の3万0,060.00ドル。2営業日の続伸で1.49%高。この週0.22%の下落。1月に入って4.01%の上伸。3か月物の前場売値も、30日入電の2万9,900.00ドルより275.00ドル高の3万0,175.00ドル。2営業日の続伸で1.26%高。この週0.05%の上伸。1月に入って3.52%の上伸。LME公認倉庫の現地29日錫在庫は、前日より横ばいの4,295トン。

鉛も続伸

LME鉛相場の前場売値は、直物が、30日入電の1,931.50ドルより3.50ドル高の1,935.00ドル。2営業日の続伸で2.00%高。この週0.47%の上伸。1月に入って0.70%の上伸。3か月物の前場売値も、30日入電の1,966.00ドルより3.00ドル高の1,969.00ドル。2営業日の続伸で1.65%高。この週0.41%の上伸。1月に入って0.61%の上伸。LME公認倉庫の現地29日鉛在庫は、前日の22万1,675トンより200トン減の22万1,475トン。

亜鉛は反発

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、30日入電の2,720.50ドルより35.50ドル高の2,756.00ドル。4営業日ぶりに反発して1.30%高。この週2.32%の下落。1月に入って7.33%の下落。3か月物の前場売値も、30日入電

の2,773.00ドルより33.00ドル高の2,806.00ドル。4営業日ぶりに反発して1.19%高。この週2.16%の下落。1月に入って6.34%の下落。LME公認倉庫の現地29日亜鉛在庫は、前日より横ばいの18万0,725トン。

アルミは続伸 アルミ合金はまちまち 北米特殊は横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、30日入電の2,590.50ドルより26.50ドル高の2,617.00ドル。2営業日の続伸で1.75%高。この週0.87%の下落。1月に入って3.99%の上伸。3か月物の前場売値も、30日入電の2,597.00ドルより24.00ドル高の2,621.00ドル。2営業日の続伸で1.55%高。この週0.89%下落。1月に入って3.17%上伸。LME公認倉庫の現地29日アルミ在庫は、前日の59万0,350トンより2,500トン減の58万7,850トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、30日入電の2,166.00ドルより1.00ドル安の2,165.00ドル。9営業日の続落で0.41%安。この週0.18%の下落。1月に入って3.99%の下落。3か月物の前場売値は、30日入電より横ばいの2,050.00ドル。この週横ばい。1月に入って9.09%の下落。LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、30日入電より横ばいの2,400.00ドル。この週横ばい。1月に入って2.04%の下落。3か月物の前場売値も、30日入電より横ばいの2,400.00ドル。この週横ばい。1月に入って2.04%の下落。

ニッケルは続落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、30日入電の1万5,230.00ドルより35.00ドル安の1万5,195.00ドル。3営業日の続落で2.00%安。この週1.78%の下落。1月に入って0.63%の上伸。3か月物の前場売値も、30日入電の1万5,470.00ドルより30.00ドル安の1万5,440.00ドル。3営業日の続落で2.03%安。この週1.44%の下落。1月に入って0.85%の上伸。LME公認倉庫の現地29日ニッケル在庫は、前日入電より横ばいの17万2,302トン。

銅・非鉄金属地金全般

株式会社 オカモト

代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265

LME公示価格(US\$)／1月30日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	8,975.00	30,060.00	1,935.00	2,756.00	2,617.00	2,165.00	2,400.00	15,195.00
	前営業日比	94.00	285.00	3.50	35.50	26.50	▲ 1.00	0.00	▲ 35.00
先物	公示価格	9,100.00	30,175.00	1,969.00	2,806.00	2,621.00	2,050.00	2,400.00	15,440.00
	前営業日比	93.00	275.00	3.00	33.00	24.00	0.00	0.00	▲ 30.00

海外非鉄金属相場

(1月31日 入電・現地 1月30日)

1 ロット＝銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント＝現物・前場・売

	前場買値	前場売値	終値	出来高
銅 A G				
現 物	8,974.50	8,975.00	9,008.68	
前日比	94.00	94.00	64.88	
先 物	9,098.00	9,100.00	9,128.50	94,962
前日比	92.00	93.00	60.50 ▲	19,889

錫 H G				
現 物	30,040.00	30,060.00	30,092.00	
前日比	290.00	285.00	154.00	
先 物	30,150.00	30,175.00	30,269.00	6,314
前日比	300.00	275.00	163.00	2,805

鉛				
現 物	1,933.00	1,935.00	1,931.78	
前日比	2.00	3.50	5.43	
先 物	1,967.00	1,969.00	1,967.50	44,144
前日比	3.00	3.00	7.00 ▲	11,360

亜鉛 S H G				
現 物	2,755.00	2,756.00	2,742.28	
前日比	35.00	35.50	10.13	
先 物	2,804.00	2,806.00	2,793.50	68,857
前日比	33.00	33.00	10.50 ▲	5,346

アルミ H G				
現 物	2,616.00	2,617.00	2,624.76	
前日比	26.00	26.50	11.29	
先 物	2,620.50	2,621.00	2,626.50	152,279
前日比	24.50	24.00	7.00 ▲	5,346

アルミ合金				
現 物	2,155.00	2,165.00	2,165.00	
前日比	▲ 1.00	▲ 1.00	▲ 1.00	
先 物	2,040.00	2,050.00	2,050.00	0
前日比	0.00	0.00	0.00	0

北米特殊アルミ合金				
現 物	2,390.00	2,400.00	2,400.00	
前日比	0.00	0.00	0.00	
先 物	2,390.00	2,400.00	2,400.00	0
前日比	0.00	0.00	0.00	0

ニッケル				
現 物	15,185.00	15,195.00	15,180.39	
前日比	▲ 35.00	▲ 35.00	▲ 100.07	
先 物	15,415.00	15,440.00	15,394.00	43,605
前日比	▲ 35.00	▲ 30.00	▲ 105.00	3,972

NY コメックス相場

出来高：1 ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

	銅HG	金	銀	プラチナ	パラジウム
2月限	428.80	2823.0	3236.4	1016.5	1004.60
3月限	430.75	2834.3	3249.3	1021.7	1009.60
4月限	433.20	2845.2	3262.2	1027.0	1014.40
5月限	435.40	-	3280.9	-	-
6月限	437.50	2869.9	-	-	1020.90
前 日 比	2.75	53.2	110.0	50.1	34.00
出 来 高	52,259	216,760	62,177	39,538	4,397

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

為替相場	LME (円ベース/キロ)						COMEX	上海			
ドル・円	銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	ニッケル	銅	銅	アルミ	亜鉛	鉛
T T S	8975	30060	1935	2756	2617	15195	429	-	-	-	-
155.43	1437	4872	338	468	427	2562	1517	-	-	-	-
-0.33	12	35	▲ 1	4	3	▲ 10	6	-	-	-	-

フリー・マーケット

■米国生産者価格(地金)

銀(セント/オンス) EH社	3140.0	(75.0)
銀(セント/オンス) HH社	3139.5	(58.3)

■NY相場

取引業者銅(セント/ポンド)	-	-	-
2号銅線くず(セント/ポンド)	-	-	-

■ロンドン相場(ドル)

金(オンス)	2787.25	(30.95)
アンチモン99.65%(トン)	39500	— 40000
ビスマス99.9%(ポンド)	6.09	— 6.38
カドミウム99.99%(ポンド)	2.30	— 2.50
インジウム99.99%(キロ)	367.50	— 400.00
セレンウム99.5%(ポンド)	14.50	— 15.00
スポンジチタン99.5%(キロ)	12.00	— 13.60
フェロモリブデン欧州産65%(キロ)	52.25	— 52.75
コバルトカソード99.8%(ポンド)	10.00	— 12.00
マグネシウム中国産99.9%(トン)	3450	— 3550
タングステンAPT(純分10キロ)	390.0	— 395.0
タンタル鉱石30-35%(ポンド)	80	— 84

■K L T M 錫 (MYR/KG、出来高トン)

	(30日)	(31日)
相 場	-	-
出来高	-	-
ドル建て価格	-	-
ODレート	3.7600	3.7600
M\$ / U S \$ レート	4.3906	4.4114
採算円/キロ	-	-
US\$採算円/キロ	-	-

■LME在庫(トン)

	在 庫	増 減
(1/29現在)	銅 256,275	▲ 200
	錫 4,295	▲ 75
	鉛 221,475	▲ 850
	亜鉛 180,725	▲ 2,300
	アルミ 587,850	▲ 2,500
	アルミ合金 1,600	-
	北米特殊アルミ合金 220	-
	ニッケル 172,302	▲ 798

■上海在庫(トン)

	在 庫	増 減
(1/24 現在)	銅 98,049	9,253
	アルミ 176,369	▲ 2,105
	亜鉛 20,499	▲ 541
	鉛 39,377	▲ 4,126
	ニッケル 36,049	722

■LMEプレマーケット(ドル)

	先物気配		
(1/31)	銅 9,094.0	-	9,097.5
(5:00PM現地)	錫 30,060.0	-	30,245.0
	鉛 1,967.0	-	1,968.5
	亜鉛 2,781.0	-	2,783.5
	アルミ 2,608.0	-	2,609.0
	ニッケル 15,420.0	-	15,435.0

■上海相場 トン当たり元、1ロット=5トン・増値税込

	銅	アルミ	亜鉛	鉛	ニッケル
2月限	-	-	-	-	-
3月限	-	-	-	-	-
前 日 比	-	-	-	-	-
出 来 高	-	-	-	-	-

※31日のKLTMは入電がありません。上海市場は休場です。

非鉄金属製品相場

(1月31日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛垂鉛製品	大阪	東京	電線（現場納め 定尺 関西地区 大口～小口）	
銅小板2.0ミリ	1790	1820	垂鉛板0.3×3×7	630	630	V V F	
建築用0.3ミリ	1840	1870	印刷用垂鉛板トッパン用	720	720	2C×1.6	64～66
銅大板2×1×2	1920	2020	給水管13ミリ	245	245	2C×2.0	112～115
銅管（ベース）	1850	2020	鉛板1.5ミリ	575	575	3C×1.6	117～120
水道用管(m当たり)13ミリ	1820	1990	鉛線3ミリ	405	405	3C×2.0	166～169
銅棒25ミリ	1700	1790	軽圧品	大阪	東京	I V	
銅条1.5×100	1755	1835	アルミ箔0.007ミリ	1160	1175	1.6mm	38.4～40.8
銅線0.9ミリ	1780	1850	〃 小板1ミリ	795	805	5.5sq	106～112
銅帯6×50	1660	1790	〃 大板1ミリ	775	795	14sq	264～281
銅平角線	1980	2020	〃 5052板	835	845	CV-T	
黄銅小板2.0ミリ	1460	1495	〃 6061板	1360	1375	600V 3C×38	2024～2151
〃 0.3ミリ	1490	1525	〃 2017板	1290	1405	600V 3C×60	3132～3330
黄銅大板2×1×2	1610	1675	〃 線3ミリ	775	790	600V 3C×100	5251～5582
黄銅管	1940	2065	〃 快削棒50ミリ	995	1010	6kV 3C×38	3179～3367
復水器用黄銅管	1910	2035	〃 合金棒50ミリ(17S)	980	990	6kV 3C×60	4496～4762
黄銅棒快削25ミリ	1200	1275	〃 合金棒50ミリ(56S)	935	950	CVV (関西～関東)	
六角棒	1230	1305				3C×2	149～153
四角棒	1260	1335	貴金属(一般小口向け)			4C×2	200～205
鍛造用	1240	1315	白金(グラム)	◎ 5355		6C×2	287～294
ネーバル	1340	1415	パラジウム(グラム)	◎ 5604		7C×2	329～337
高力	1340	1415	金(グラム)	◎ 15303		合金鉄 11月輸入単価 (CIF)	
黄銅線6ミリ	1645	1675	銀(キログラム)	◎ 176110		フェロマンガン2%以上炭素含有 201	
黄銅平角線ロール仕上	1845	1885				〃 その他	199
黄銅条1.5×100	1455	1510	レアメタル輸入価格	11月通関 (CIF)		フェロシリコン55%以上 239	
リン青銅板一般用1.0ミリ	2420	2410	金属ケイ素(99.99%未満)	316		フェロクロム4%以上炭素含有 263	
〃 バネ用0.3ミリ	2620	2620	モリブデン酸化物	5295		フェロモリブデン純分60%以上 5325	
リン青銅棒25ミリ	2510	2520	タンタル	92088		フェロバナジウム 3063	
リン青銅線3ミリ	2890	2900	マグネシウム	399		フェロニッケル33%未満 482.5	
洋白板一般用1.0ミリ	3180	3330	コバルト	4338			
〃 バネ用1.0ミリ	3250	3420	インジウム	48015		電気垂鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326	

減 摩 合 金	2月3日改定	銅 合 金 地 金	1月6日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	◆ 5920	BC 1種	1445
2種	◆ 5900	2種	1820
3種	◆ 5845	3種	1910
4種	◆ 5265	6種	1610
5種	◆ 4445	7種	1700
7種	◆ 2315	YBSC 3種	1285
8種	◆ 2250	LBC 3種	1835
9種	1730	PBC 2種	1935



非鉄金属材料相場

山元建値	電気銅	1440(28)	金	13,890(31)
() 実施日	電気鉛	363(28)	銀	158,450(31)
	電気亜鉛	487(28)	錫(99.99%)	6,200(10)

キロ当たり円 ◎上げ ◆下げ (1月31日調べ) インジウム 大口~小口(99.99%) 55,000 ~ 63,000(1)

非鉄原料 (炉前材)		大 阪 仲間相場	東 京 仲間相場	地 金	大 阪 仲間相場	東 京 仲間相場
1トン以上外税持込					高値 安値	高値 安値
1 号 銅 線		1306	1306	電 気 銅	◎ 1399	◎ 1394 ◎ 1401 ◎ 1396
2 号 銅 線		1264	—	電 気 亜 鉛	456	450 456 450
上 銅 (新 切)		1277	1273	蒸 留 亜 鉛	444	438 444 438
雑 ナ ゲ ッ ト		1107	1106	再生ダイカスト亜鉛2種	384	378 384 378
並	銅	1219	1204	再 生 亜 鉛 (98%)	339	333 339 333
下	銅	1200	1175	電 気 鉛	344	341 343 340
銅 削 粉		1180	1175	再 生 鉛 1 号	325	315 326 321
銅 さ い (30%)		25	25	再 生 鉛 3 号	330	328 331 327
新 切 黄 銅 セ パ		949	960	錫 1 号	4850	4800 4850 4800
コ ー ペ ル		913	916	ア ン チ モ ン	6000	5950 6000 5950
黄 銅 棒 地		891	904	ニッケル(メッキ用)	2550	2500 2550 2500
黄 銅 削 粉		885	899	コ バ ル ト	4000	3700 4000 3700
並 黄 銅		850	831	セ レ ニ ウ ム	4200	4000 4200 4000
黄 銅 ラ ジ エ タ ー		752	736	ビ ス マ ス	2000	1900 2000 1900
交 叉 ラ ジ エ タ ー		798	782	カ ド ミ ウ ム	800	750 800 750
黄 銅 鋳 物		855	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	480	460 480 460
山 送 り (55%)		500	—	アルミ地金 99.70 %	455	451 457 453
上 青 銅 鋳 物		1035	—	アルミ二次地金 99 %	365	360 365 360
並 青 銅 鋳 物		1033	1025	〃 90 %	340	335 340 335
上 青 銅 鋳 物 削 粉		1028	—	アルミ二次合金ADC12	478	473 481 476
並 青 銅 鋳 物 削 粉		1018	1009	鋳 物 用 C2BS	503	498 505 500
新切リン青銅(伸銅)		—	1306	青 銅 合 金 地 金 3 種	1860	1850 1940 1930
〃 (鋳 物)		1145	—	〃 6種	1580	1570 1630 1620
リ ン 青 銅 削 粉		1063	1059	ハ ン ダ 錫 60 %	◆ 3615	◆ 3575 ◆ 3635 ◆ 3605
新切洋白(電子材)		1083	1074	〃 50 %	◆ 3140	◆ 3090 ◆ 3160 ◆ 3130
新 切 亜 鉛		269	269	〃 40 %	◆ 2725	◆ 2665 ◆ 2680 ◆ 2650
ダイカストくず		191	191	減 摩 合 金 2 種	◆ 5295	◆ 5265 ◆ 5300 ◆ 5270
亜 鉛 ド ロ ス		170	180	〃 4 種	◆ 4585	◆ 4560 ◆ 4590 ◆ 4560
上 鉛		206	204	〃 7 種	◆ 1760	◆ 1710 ◆ 1760 ◆ 1710
電池素鉛ケース込		87	87	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切	65 65
活 字 鉛		217	214		〃 ダライ粉	50 50
新切アルミ1級		317	320		高耐食ステンレスSUS316	230 230
新切サッシ1級		315	318		耐熱ステンレスSUS310	340 340
新切合金1級		308	303		13クローム 新切	28 29
機 械 鋳 物 1 級		240	248		ハイス 9種	165 165
ピ ス 付 サ ッ シ P		267	272			
合 金 削 粉 P		197	198			
込 ガ ラ P		160	161			
カ ン ・ バ ラ		252	245			

